

令和8年度、9年度東西浄化センター汚泥収集運搬処理処分業務委託 (収集運搬) 仕様書

本仕様書は、舞鶴市（以下「発注者」という。）が管理する東浄化センター及び西浄化センターの汚泥処理工程で発生する下水汚泥（脱水ケーキ）の収集運搬委託について定めたものである。

1 委託概要

- (1) 業務の名称
令和8年度、9年度東西浄化センター汚泥収集運搬処理処分業務委託
(収集運搬)
- (2) 対象品目(汚泥形態)
下水汚泥（脱水ケーキ）
- (3) 処分方法
有効利用（セメント資源化、肥料化、焼却による熱利用等リサイクルによること。）
- (4) 積込場所
①舞鶴市字泉源寺1616-3番地（東浄化センター）
②舞鶴市字松陰29番地(西浄化センター)
- (5) 運搬先
受注者の処理処分地またはグループ業者の処理処分地
- (6) 運搬車両
10tコンテナ車又は10tダンプトラック程度
- (7) 搬出期間
令和8年4月1日から令和10年3月31日

2 提出書類

- (1) 契約時に提出する書類
 - ア 産業廃棄物収集運搬業許可証の写し（発着地ともに必要）
 - イ 運搬車両明細
 - (ア) 運搬車両の自動車検査証の写し
 - (イ) 計量証明書
 - (ウ) 覆蓋・開閉扉等荷台構造が本仕様書に定めた条件を満たすことを証明する書類
(当該部の写真等)
 - ウ 作業計画書
- (2) 委託料請求時に提出する書類
 - ア 実績報告書
 - イ 請求書
 - ウ マニフェストの運搬終了報告書

3 産業廃棄物管理票

法令に基づき産業廃棄物管理票を適用すること。

4 委託料

- (1) 汚泥量は、東浄化センター、西浄化センターそれぞれで月毎に集計し、トン未満の端数は切り捨てるものとする。
- (2) 取引にかかる消費税及び地方消費税の額の計算において、円未満の額が生じた場合は、これを切り捨てるものとする。

5 産業廃棄物の種類・性状、発生予定数量

- (1) 東西浄化センターにて発生する産業廃棄物（脱水ケーキ）の種類及び性状は、次に示すとおりとする。（データシート参照）

- ア 産業廃棄物は、汚泥（有機性汚泥）である。
- イ 汚泥は脱水助剤として、高分子凝集剤を使用して脱水している。
- ウ 含水率は85%以下である。（概ね75%～83%）
- エ 汚泥の荷姿は、バラである。
- オ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第2条の4第5項に定める特定有害産業廃棄物には該当しない。
- カ 年間の発生予定数量は、以下のとおりである。
 なお、予定数量は入札公告時点での見込量であり、予定数量から増減する可能性があり、確定量ではない。

	令和8年度	令和9年度
東浄化センター（泉源寺）	2,800 t	2,700 t
西浄化センター（松陰）	2,200 t	2,200 t

- キ 1日当たりの最大の発生予定数量は以下のとおりである。また、()内の数量は1日当たりの搬出日の平均数量を示したものである。ただし、汚泥の濃縮状況・運転時間の変更等による増減の可能性はある。

	令和8年度	令和9年度
東浄化センター（泉源寺）	16 t（12 t）	16 t（12 t）
西浄化センター（松陰）	8 t（8 t）	8 t（8 t）

6 委託内容

- (1) 本委託は、舞鶴市東浄化センター及び西浄化センターの汚泥脱水設備から脱水ケーキをコンテナ又はダンプトラックに積み込み、運搬先へ運搬するものである。
- (2) 産業廃棄物の運搬は、産業廃棄物の運搬許可車両であり、かつ、ダンプがで、雨水の侵入及び汚泥の飛散防止並びに臭気の拡散抑制のため、荷台に以下の対策が施された車両とすること。
 - ◇ 密閉型自動シート車または密閉蓋式構造車
 - ◇ 荷台アオリ開放部に防水パッキンを有する車両
 - ◇ アオリ部のロック方式が、自動・手動による2重である車両
 （手動・手動の2重化でも可とする。）
 なお、別紙ホッパー室平面図、断面図又は立面図において、旋回等を考慮した上、トラックが室内に収まること。
- (3) 搬出量は、脱水処理工程等の都合により変動する場合がある。
- (4) 搬出量は、その都度トラックスケール等で計量すること。
- (5) 搬出日は日曜日及び元日を除く毎日とする。
 東浄化センターは、午前中に1回（1週間に3日）、午後に1回（1週間に6日）を基本とする。搬出時刻は、原則午前中は10時以降12時までに8t積み込み、午後は15時以降に8t積み込む。
 西浄化センターは、午前中に積み込むことを基本（1週間に6日）とする。搬出時刻は、原則午前8時に6t積み込み、12時までに2t以上を積み込んで合計8t前後となるように調整する。
 （※脱水ケーキホッパー容量：東浄化センターは8.4t、西浄化センターは7t）
 東西浄化センターの脱水汚泥の運搬は別車両で行い、原則、混載はしないものとする。また、汚泥処理工程等の都合により、増・減車、搬出日の追加・減少変更、搬出時間を変更する場合がある。その場合は受注者に事前に通知するものとする。
- (6) 最大積載量を超えて運搬しないこと。
- (7) 汚泥積み込みはシャッターを閉めて行う等、悪臭防止に関しては十分注意を払い作業を行うと共に、運搬中においても、センター内及び公道等に産業廃棄物を落下又は飛散させないこと。万一、落下、飛散させた場合は、自らの責任で速やかに清掃し、消毒及び消臭すること。
- (8) 運搬中は道路交通法等を遵守し、安全運転に努めること。
- (9) 産業廃棄物積込箇所の周囲は、常に清掃し、清潔な環境を保つこと。
- (10) 本委託に係る汚泥の収集運搬を受注者が何らかの理由で運搬できなくなった場合に、代わって運搬を行う業者を確保しておくものとする。
- (11) 本仕様書に定めのない事項は、発注者受注者が誠意をもって協議し、これを取りき

めるものとする。

7 法規等の遵守

- (1) 受注者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）を遵守し、不法行為を行ってはならない。
- (2) 受注者は、運搬に際して道路交通法等の関係法規を遵守し、沿道、近隣関係者とトラブルが生じないよう十分注意し、安全運転に努めること。万一、第三者との間にトラブルが生じた場合、自らの責任で速やかに対処しなければならない。

8 再委託

- (1) 受注者は、発注者から委託された産業廃棄物の収集・運搬業務を他の者に委託してはならない。ただし、発注者の書面による承諾を得て法令の定める再委託の基準にしたがう場合は、この限りではない。
- (2) 受注者は、廃棄物処理法第14条第14項のただし書きにより本委託業務の一部を他の者に再委託する場合は、廃棄物処理法及び関係法令の規定により、「再委託承諾願」を事前に提出し、市の承諾を得ること。この場合、再委託となる者は該当自治体の廃棄物処理法に基づく産業廃棄物収集運搬業の許可を有していること。また、「再委託承諾願」には次に示す書類を添付すること。
 - ア 産業廃棄物収集運搬業許可証の写し（発着地ともに必要）
 - イ 運搬車両明細
 - (ア) 運搬車両の自動車検査証の写し
 - (イ) 計量証明書
 - (ウ) 覆蓋・開閉扉等荷台構造が本仕様書に定めた条件を満たすことを証明する書類（当該部の写真等）
- (3) 受注者は、本委託業務を他の者に再委託する場合、再委託となる者に本仕様書及び契約内容を熟知させ、遵守するよう指導しなければならない。
- (4) 受注者は、再委託する内容に変更が生じた場合、直ちに発注者の承諾を得ること。

以上